

「社員OJT研修会」 特徴的業務の報告会の開催

西日本総合コンサルタント株式会社

1. 開催目的

総務営業部門、技術部門のそれぞれのグループから、日頃実施している業務、事務・勤務態勢の改善等、特徴的業務について代表者から発表プレゼンを行って、当社の技術スキルのアップ、事務改善につながることを目的に「社員OJT研修会」を開催した。

2. 日時・場所

日 時：平成30年10月19日（金） 午前10時～12時15分

場 所：西日本総合コンサルタント株式会社・大会議室

参加者：西日本総合コンサルタント(株) 社員、役員

3. 発表者、発表テーマ

NO	グループ名	発表者	発表テーマ
1	総務営業	江口友和	テクリスについて
2	CALS	古川友子	「長時間労働体質をかえる、早く帰るためのカエルプロジェクト」に参加して
3	補償	庄司 耕	地域公共交通網形成計画の概要
4	地盤	長崎義弘	工業団地予定地に分布する古第三紀堆積岩のスレーキング特性について
5	測量	八坂祐輔	内水範囲調査について
6	設計	大串淳二	熊本地震 妙見川河川災害（矢板護岸設計）
7	ドローン・UAV	古川 孟	ドローンチームの活動報告

発表時間は、一人1分程度。



社員OJT研修会状況

4. 発表成果など

発表者からは、各グループの特徴的業務や勤務態様の改善等について、発表していただいた。

その中で、昨年度研修「輝け！SAGA女性みらい塾」（全3回、平成30年1月終了）を受講されたCAL Sグループの古川友子TLから勤務態様改善として「長時間労働体質をかえる、早く帰るためのカエルプロジェクト」の発表提言が行われた。今まさに「働き方改革」が叫ばれており、時代ニーズにあったテーマであったので紹介する。

◎長時間勤務労働をしない・させないための効率的時間の運用について(写真下)

- ①なぜ長時間労働になるのか
- ②会議や会議資料作成に時間をとられる
- ③スケジュール管理が悪い
- ④仕事量・分担量が多い
- ⑤後輩・後進の指導に時間を取られる
- ⑥目指すがた
と分析され、

時間外労働がなくなる最大の原因は、早く帰ろうとする意欲がないこと、定時に帰ることを当たり前にする。この2点がポイントである。最後に「意識改革が時間外労働を減らす第一歩」とまとめられた。



また、一昨年の熊本地震において当社が請け負った設計グループの大串淳二TLから「熊本地震・妙見川河川災害（矢板護岸設計）」について、災害被災調査、河川護岸の復旧工法の検討・決定までの約1年間（平成28年4月～平成29年3月）の取り組み状況、技術的検討、関係機関等の協議などを発表してもらった。

最後に、本年4月に立ち上げたドローン・UAVチームの平成30年度上半期活動報告が行われた。東部土木事務所から受注した「河内川・牛原地区河川調査委託（構想図作成）」において、河内川の地元説明会資料として河川の空撮動画（約30分）を作成しており、構想図作成においての「見える化」ができてきているようで、スキルアップが図られていると感じた。

5. 発表後のコメント

発表後、福島裕充社長から今回の研修会でドローンチームや地域公共交通網形成計画など、新しい業務の取り組み、技術的検討などについて、分かりやすかったといったコメントをされた(写真→)。

また、古賀照久技術指導部長から発表テーマ等について「何を伝えたいか、発表プレゼン資料の作成、プレゼン方法・スタイル」の更なる改善等が必要といった指導のコメントがあった。

